

【米ドル】 1月PCEデフレーターに注目、リスクオンなら底固い

	直近1週間のレンジ	今後1週間の予想レンジ	今後3ヶ月の予想レンジ
ドル/円	149.67-150.76円	149.00-152.00	145.00-154.00円

米ドル/円相場は、1ドル=150円の節目水準で売買が交錯する展開になった。米長短金利上昇が一服する中、ドル/円相場も151円水準で上値を抑えられている。しかし、改めて戻りを売り込むような動きまではみられず、150円を挟んで売買が交錯する展開になった。2月に入ってから1月雇用統計、1月消費者物価指数と強めの数値が発表されたことが、米金利上昇と連動してドル/円相場を押し上げた。しかし、その後は複数の当局者が冷静な反応を見せていることで、米長短金利の上昇が一服し、つれてドル/円相場も上げ一服となった。米連邦公開市場委員会（FOMC）議事要旨では、当局者の利下げ着手に対する慎重姿勢が再確認されたが、少数のメンバーが高金利政策を続けることに伴う景気リスクに言及していたことも確認されている。日米株価が過去最高値を更新したことも、ドル/円相場を下支えした。

今週は29日の1月PCEデフレーターが最大のイベントリスクになる。1月消費者物価指数と1月卸売物価指数が強めの数値になったことで、PCEデフレーターも強めの数値になることがほぼ確実な情勢にある。焦点は、そこで改めて米金利上昇を促す動きがみられるのか、材料出尽くし感から金利横ばいが続くかになる。このためイベントリスクが高めの状態になるが、余程のサプライズがなければ米金利急伸が再開される可能性は低いだろう。1月の強めのインフレ圧力は既に消化が終わっている可能性が高い。リスクオン環境が維持されると、日米金利差から151~152円水準まで値上がりする可能性がある。ただし、日本当局の円買い介入に警戒感があり、一気に152円突破を試すような地合は想定しづらい。下落リスクは、高騰が続く株価反落に注意が必要。

サイコロジカルは、前週の7勝5敗から5勝7敗に。14日RSIは64.32。

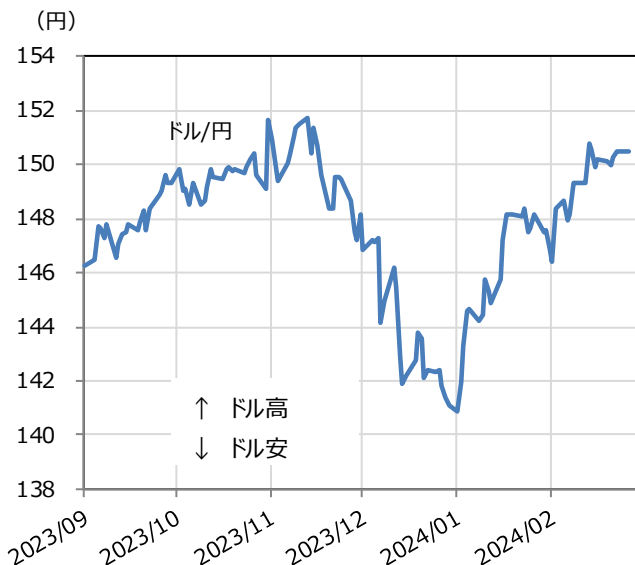
注目イベント

【 米国 】

- 02/26 (月) 1月新築住宅販売高
- 02/27 (火) 1月耐久財受注
- 02/27 (火) 2月消費者信頼感指数
- 02/28 (水) 10~12月期GDP改定値
- 02/29 (木) 1月個人所得・個人支出
- 03/01 (金) 2月ISM製造業指数
- 03/01 (金) 2月ミシガン大消費者マインド指数

【 日本 】

- 02/26 (月) 1月企業向けサービス価格指数
- 02/27 (火) 1月消費者物価指数
- 02/28 (水) 12月景気動向指数
- 02/29 (木) 1月鉱工業生産
- 03/01 (金) 1月失業率
- 03/01 (金) 2月消費者態度指数



本レポートは投資判断の参考となる情報提供を目的としたものです。弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行うようお願い申し上げます。
Copyright © Marketedge Co., Ltd.

政策金利一覧

(%)	日本	米国	ユーロ圏	豪州
2022/01	-0.10	0.25	0.00	0.10
2022/02	-0.10	0.25	0.00	0.10
2022/03	-0.10	0.50	0.00	0.10
2022/04	-0.10	0.50	0.00	0.10
2022/05	-0.10	1.00	0.00	0.35
2022/06	-0.10	1.75	0.00	0.85
2022/07	-0.10	2.50	0.50	1.35
2022/08	-0.10	2.50	0.50	1.85
2022/09	-0.10	3.25	1.25	2.35
2022/10	-0.10	3.25	1.25	2.60
2022/11	-0.10	4.00	2.00	2.85
2022/12	-0.10	4.50	2.50	3.10
2023/01	-0.10	4.50	3.00	3.10
2023/02	-0.10	4.75	3.00	3.35
2023/03	-0.10	5.00	3.50	3.60
2023/04	-0.10	5.00	3.50	3.60
2023/05	-0.10	5.25	3.75	3.85
2023/06	-0.10	5.25	4.00	4.10
2023/07	-0.10	5.50	4.25	4.10
2023/08	-0.10	5.50	4.25	4.10
2023/09	-0.10	5.50	4.50	4.10
2023/10	-0.10	5.50	4.50	4.10
2023/11	-0.10	5.50	4.50	4.35
2023/12	-0.10	5.50	4.50	4.35
2024/01	-0.10	5.50	4.50	4.35
2024/02				4.35
2024/03				
2024/04				
2024/05				
2024/06				
2024/07				
2024/08				
2024/09				
2024/10				
2024/11				
2024/12				

注意事項

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。

本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。

本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。

本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

発行会社

- 【会社名】 マーケットエッジ株式会社 (Marketedge Co., Ltd.)
【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1 (古川ビル4F)
【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>
【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

【執筆者プロフィール】

マーケットエッジ株式会社 代表取締役/商品アナリスト 小菅 努 (こすげ・つとむ)
1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物取引会社の営業本部を経て、同時テロ事件直後のニューヨーク事務所にてコモディティ・金融市場の分析を学ぶ。帰国後は調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社代表に就任。金、プラチナ、原油、天然ガス、天然ゴム、コーン、小麦、大豆、コーヒー、ココア、砂糖、綿花などのコモディティ市場を中心に、金融市場もカバー。主に法人向けのコモディティレポート配信、寄稿、講演等を行う。

E-mail: kosuge.tsutomu@outlook.com

Twitter @kosuge_tsutomu